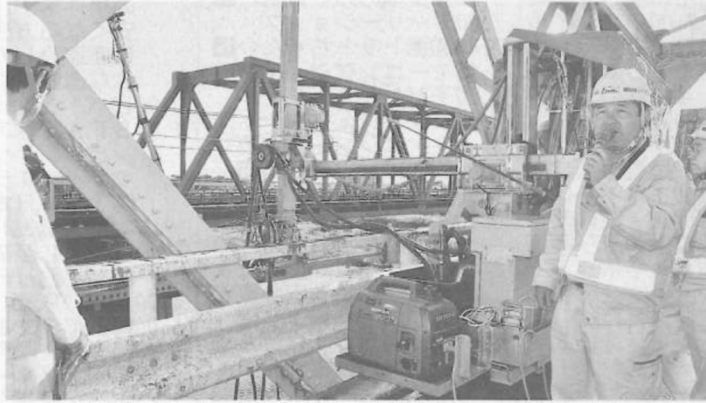


【平成 29 年 10 月 6 日 岐阜新聞】

揖斐川橋をロボットで点検

岐阜大チームがフィールド試験



高性能カメラでひび割れ撮影

実際に操作しながら特徴などの説明があった橋を点検する最新ロボット＝大垣市新開町、揖斐川橋

大垣市と安八町を結ぶ揖斐川にかかる国重要文化財の揖斐川橋（大垣市新開町）の点検を行う、カメラを搭載した最新ロボット技術のフィールド試験が同橋であり、自治体職員や建設業者ら約80人が見学した。

（小田香緒里）

内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」を研究課題とする岐阜大SIP実装プロジェクトなどが主催。同橋は1886年に完成した旧式のトラス橋。鉄道橋として供用開始した

が、2000年からはそれぞれの開発企業の徴を説明し、参加者が歩行者、自転車用の橋として利用されている。現在は同市が管理している。文化財として維持管理するため、通常の点検の際に設置する足場の組み立てなども橋に傷を付けないよう注意が必要になるなど、工事は難易度が高いという。

橋の下部とトラスの上部を点検する2種類のロボットの試験を実施。ロボットには高性能のカメラを搭載しひび割れを撮影するほか、コンクリートをたたいて音を集めるなどの機能があり、操作台で画像や音を確認できるため直接橋の下などに降りる必要がない。

【平成 29 年 10 月 13 日 中日新聞】

ロボットカメラで
旧揖斐川橋梁点検

岐阜大工学部

最新鋭のロボット技術を使って橋を点検する実地試験が、大垣市が管理する国重要文化財で、同市新開町と安八町西結をつなぐ揖斐川に架かる鉄橋「旧揖斐川橋梁」で行われた。内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」で

ロボットカメラを使って行われた旧揖斐川橋梁の点検。4日、大垣市新開町で

研究委託を受けた岐阜大工学部の研究チームが、県内各地の橋や堤防、トンネルなどで実施している試験。最新鋭のロボットカメラを市職員らの前で操作し、旧揖斐川橋梁の点検に実用化できるかを検証した。

ロボットカメラでは定期的な点検のために撮影位置を細かく記録し、0.2ミリの程度の小さなひび割れも発見できる。国重文のため維持管理に制約が多い旧揖斐川橋梁を、足場などを組まずに効率的に点検することが狙い。旧揖斐川橋梁は英国人技術者の設計で一八八七（明治一〇）年に完成し、現在は自転車と歩行者の専用道として使われている。

（滝田健司）

【平成 29 年 10 月 17 日 建通新聞】

業界・行政ニユース

「体験型」で実施
岐大SIP実装PJフィールド試験

インフラの維持管理や更新、メンテナンス技術を検証している岐阜大学SIP実装プロジェクト（六郷恵哲研究代表）は4日、第8回フィールド試験を行った。県内の研究機関や高校生など約75人が参加した。

今回は大垣市の協力で、国の重要文化財にもなっている揖斐川に架かる旧揖斐川橋梁（旧式トラス橋）の右岸側（大垣市新開町）で体験型の点検試験を行った。写

真。技術的内容を机上で受けた一行は橋梁に移動し、実際に行われている点検ロボットや点検内容を見学した。試験対象は、▽橋梁点検ロボットカメラなどの機器を用いたモニタリングシステムの創生（三井住友建機）▽橋梁点検カメラシステム「視る・診る」（ジビル調査設計）の技術。参加者は実際にロボットカメラの操作を体験した。

点検ロボットや点検内容を
見学した。

試験対象は、▽橋梁点検ロボットカメラなどの